

2012・7・16
「さよなら原発集会」
12:30~代々木公園
自然エネルギーで電力を!

練馬労連

発行所：練馬区労働組合総連合
練馬区中村北1-6-2
東京土建練馬支部内
電話 03-3825-7146
fax 03-3825-7117

東京地評 地域運動交流集會を開催!

東京地評 地域運動交流会
を5月19、20日に山梨県
石和温泉で開かれました。

集會には、地評役員・事務

局長を含め約60人が参加、首都
東京の地域運動の現状や課題

を交流しました。新自由主

義「構造改革」が日本の

の安全と平和、労働者、

国民の安全安心に生き

る、暮す権利を破壊し

てなりたうていることを

改めて気付かされました。

「地方自治と地域主権」で

講演があり、憲法の視点から

いま自治体におきている問題

を整理し、地方自治と地域運

動・労働運動への問題提起が

された。大阪「都」構想を掲

げる橋下市長の住民を支配す

る政治手法を、地域分権から

交流会で発言する
練馬労連副議長・秋葉さん



体・住民の権利破壊をもたら
すものと論証があり、政治手
法についての批判がためにな
りました。

地域労働運動として、雇用

労働者860万(うち第3次

産業が7割)人中208万人

が組合員。組織率は右肩下が

り、団塊の世代の定年退職も

続いている中で地区労の活動

も困難を窮めている状況もた

されました。私は、自衛隊の

市街地でのレンジャー訓練

(42年ぶり)について報告

をしました。

誰でも個人加入できる「ミニ

ニティユニオン」は右肩上がり

駅頭宣伝ティッシュにビラを

いれ、事務所前のバス停に

労働前の広告を出している

「秋葉 英夫」
各地区とも東北復興の多彩
な支援活動の報告がありまし
た。

街中にレンジャー部隊!?



へとへの
レンジャー隊員

4月8日一通の通知書が板
橋区長の元へ届く。陸上自衛
隊 第一普通科連隊長 一等

陸佐 石井一将隊長か

らのものである。おお

よその内容はこうだ。

「板橋区内の一般の道

路や歩道へ、レンジャー

徒歩訓練を昼間からや

ります。宜しくね」こ

れが始まりである。

5月16日練馬駐屯地

の陸上自衛隊に「市街

地で実施するレンジャー

訓練実施計画を演習場

や駐屯地内に限定した

訓練へ変更」を求める

陳情を阿部事務局長を

はじめ6名で行ないま

した。今回の訓練の目

「私は決してウソは申しませ
ん!」とウソをつくことに始



東京地裁に入る原告団と
支援者の皆さん

裁判の反動が止まらない

「慣れさせるためでありませ
ん」との声に、林陸佐は「レ

ンジャーマーチは、隊員を、

アスファルトやコンクリート

に慣れさせるためでありませ

ん」と、耳を疑いたくなるよ

うな説明に終始しました。

6月2日、北町の商店街に

ピラを持って、街の人々に聞

き取りを行なったところ、陸

自は「街の人々には全てお知

らせ済みです」と言っていた

にも拘らず「誰一人として、

真実を知る人はいないとい

う恐ろしい現実」を知ること

になりました。「ここでも「ウソ」

が当たり前のように使われて

いたのです。

「利」を掲げ、裁判所へ訓練の
中止を求め仮処分を申し立て

ました。裁判の結果は訓練の

前日の11日3時過ぎ「却下」

と言ったものでした。これはま

さに、国家権力の横暴、裁判

所の反動化がここでも急速に

進んでいることを証明するも

のです。

その前に、6月6、8日、

陸自は、3回の「住民説明会

と言つ名の「説明会やったよ」

のアリバイ造りの会合」を自

衛隊、公安関係者を含め30人

もの制服の方々を招集して行

ないました。

6月12日、訓練は強行され

ました。裁判も含め一連の行

動の成果もあり、行軍ルート

の変更、隊列の行軍の仕方

など多少のことは変わりました

したが、住民の安心安全の

確保とは程遠く、当日は、散

歩中の保育園の子どもたちが、

泣き叫び、言いようのない恐

怖が街を包みました。

私たちは、世界の宝と言わ

れる憲法9条をも改悪し、戦

争する国へ突き進むとして

いるこの国を、アメリカの従

属国とならうとしているこの

国を、何としても止めようで

はありませんか。そのため

の世論を作る運動を、今すぐに、

始めましょう。

労働者の権利を守る為に も民主的な選挙制度を！

1995年日経連は「新時代の日本の経営」を発表し、雇用、賃金、労働条件など労働に関する具体策を示しました。

1997年小選挙区制のもとで自民党橋本内閣が誕生し、「橋本6大改革」が提唱され、構造改革を本格的に始めました。小泉内閣のとき労働者派遣の全業種解禁、医療など社会保障の大改善、安倍内閣のときは教育基本法の改善 など数々の力で悪法をどんどん作りました。

1994年今から18年前細川内閣のとき、小選挙区比例代表並立制が導入されました。この制度が導入された国会運営もひどいものでした。当時、小選挙



小林興起議員と懇談する参加者

区制に反対する15000の地域連絡会、六百万に上る署名など世論と運動の広がり、参議院で否決されました。一度否決されたものを細川内閣と自民党の密室談合によって再度議決(当時の衆院議長は土井たか子氏)するという暴挙を行なっていました。同時に、憲法違反の「政党助成」も導入されました

導入された選挙制度のもとで小選挙区では4割の得票で7割の議席を得る状況を作り出しました。内閣府が行なっている「社会意識に関する世論調査」では、「政治に民意が反映されてない」とする回答が81.9%であることが明らかになりました。民主党は衆議院の定数を80削減(小選挙区5、比例75)を提起しています。今以上に民意が反映しない状況が作られます。選挙制度の抜本改革が必要だと批判が続出しています。

密室談合により 小選挙区制の導入 政党助成の導入 民意は排除！

衆議院選挙制度改革をめざす議員連盟(略称・中選挙区制議連)が結成され、二百人を超えたといわれています。議会制民主主義の再生のためには、小選挙区制廃止が必要であり、民意を反映する選挙制度への抜本改革が求められます。

練馬労連は城北法律の菊池弁護士に提起し、5月18日練馬出身の中選挙区制議連に所属している吉田公一、小林興起両衆議院議員と懇談しました。吉田公一氏は「民意を反映するためにはブロック別の大選挙区制にするのが好ましい」。小林興起氏は「中選挙区制にし選挙区定数は3〜5とし、区割りには有識者に委ねる」との考え方を述べられました。



今年のメーデーへ参加しました

2012年国民平和大行進



5月6日、核兵器の全面禁止、大震災の被災者支援、

不撓不屈の大行進が始まる

自然エネルギーへの転換を合言葉に「2012国民平和大行進」が東京夢の島から広島へ向かって出発しました。

出発集会には、900人が参加し、途中で行進者が増え、東陽町公園では1000人を超えました。出発集会では、宗教者や日本青年協、被爆者の代表が挨拶し、通し行進者から決意表明がありました。今回は80歳を超える方が東京から広島まで通し行

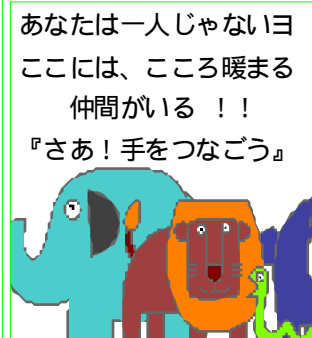
被爆者が生きていくうちに核兵器の廃絶を！

影した「歩く」という記録映画を作製された方です「半世紀以上続けられている平和行進の名を汚さないように、各県で平和行進に参加する人たちに迷惑をかけないように広島平和公園に向けて90日間を歩き続けたいと思います」と決意表明が述べられました。

練馬での平和行進は、7月20日(金)18:30、豊玉公園です。

「早期百名達成へ！」
5月12日「ユニティ」
ユニオン(CU)練馬支部
第3回総会を開催、早期百名達成に向けての運動方針を採択、新支部長に金田練馬労連議長(代行)が選出されました。

未組織労働者のより所：CUの役割を發揮！
まるで、物のよつに解雇される労働者、その多くが泣き寝入りする中、CUに加入し、3月、解雇解決(慰労金3ヶ月分)を勝ち取った重満さんは「勇気をもらった！経験を広め、同じような女性のためにも頑張りたい」と力強く発言、争議を通して成長する姿(新たな活動家誕生)にワクワクします。
運動体制の確立を！
協力組合員の拡大



あなたは一人じゃないヨ
ここには、こころ暖まる仲間がいる！！
『さあ！手をつなごう』

